



夢実現・挑戦

令和8年の津中を担う新生徒会

11月28日、来年の津奈木中学校をリードする生徒会の役員改選が行われました。生徒会長に立候補した5人、副会長に立候補した5人がそれぞれの決意を語る「立会演説会」のあと、有権者（在校生）からさまざまな質問が飛び交う「公開討論会」を行いました。

立会演説では、「みんなが『学校は楽しい』と思えるようにしたい」「みんなが仲良くなりたい」「お互いに尊重し合える関係を築きたい」という人間関係に関すること、「運動習慣、健康な学校生活」という学校課題に関すること、「悩みごとのない過ごしやすい学校」という支え合う体制づくりなどの思いが伝えられました。

その後の公開討論会では、立会演説会での意見表明を基に、様々な質問が出されました。そのうちの一つに、「『お互いを尊重する』というが、簡単にはできない。変われない人にどう対応するのか。」という質問が出されました。それに対して、質問を受けた生徒は「まずは自分が変わることで示す。」と応えていました。孔子の言葉にも、「己を修めて以て人を安んず」という言葉があります。他人を変えようとするよりも、自分を律することが人間関係を良くする第一歩です。やり取りを聞いて、自分自身の大切にしたいことを改めて気づかされたひと時でした。



先日、「心のアンケート」を実施しました。「楽しい学校生活を送る」ため「いじめの早期発見」を目的にしたアンケートです。残念ながら、不用意な一言に心を痛めている生徒が複数名いることが分かり、生徒指導部を中心に早速実態把握と指導を行ったところです。

新生徒会役員に立候補してくれた多くの人が、「学校が楽しい」と思える取組をしていきたいと思っていることが分かります。「己を修めて以て人を安んず」、まずはできることから始めていきましょう。もちろん、私達教職員も。

津奈木中学校学校だより
令和7年12月24日
第12号
文責：校長 内場

修学旅行、行つきました！

12月7日から9日の二泊三日の日程で、2年生が関西方面への修学旅行を行つきました。出かける直前、本校ではインフルエンザが流行しかけており、決行が危ぶまれていましたが、2年生は「換気」を徹底し、無事に全員が修学旅行に参加することができました。



旅行先では、リーダーがしっかりと班員をまとめて動かしてくれたことや、相手を思いやった行動でみんなが「楽しかった」と帰ってこられたことなど、修学旅行の目的をしっかりと果たすことができたことをうれしく思います。



今年から、修学旅行に際して、町から費用助成が受けられることになりました。町のご支援に心から感謝申しあげます。

きらり輝く津奈木

12月11日夕方、濱田教育長からの一本の電話。12月10日（水）、午後4時30分ごろ、学校前の3号線の押しボタン式信号がある横断歩道で、中学生5人が横断した直後、止まっていた車に対して頭を下げて礼をしたそうです。その姿があまりにも自然で、車を運転していた方（芦北在住）が、嬉しくなって津奈木町教育委員会にお電話をかけてこられたそうです。

押しボタン式信号に限らず、横断歩道を渡った後には、止まってくれた車に礼をする本校生徒の姿がよく見かけられます。誰に言わされたわけでもないのでしょうが、こうした良い行いが学校全体に広がっているのは本当にうれしいことです。

良いと思う行動は、「いつでも、どこでも、だれにでも」の気持ちで！

多くの声援を力に変えて 校内ロードレース大会実施



12月16日、B&G グラウンド周回コースで、校内ロードレース大会が行われました。男子は3km、女子は2kmで競います。今回は、個人部門と、クラスの平均点で競うクラスマッチ部門の二本立てで行われました。

開会式では、次のように激励を送りました。「津奈木中の学校目標は『夢実現に粘り強く挑戦する生徒』です。自分の目標とするものが1位なのか、それともこれまでの自分の記録を上回ることなのか、それだと私は思いますが、その夢（目標）実現に向けて、粘り強く走り切ってください。」

その言葉通り、生徒たちは精一杯の走りを見せ、多くの生徒が自己新記録を出したことが報告されました。素晴らしいことです。

結果は、以下のとおりでした。

《女子2kmの部》

1位 吉野 紗也香
2位 鳥居 樹莉菜
3位 林 柚花
4位 山口 杏莉
5位 木福 芽依
6位 一川 玲菜

《男子3kmの部》

1位 濱田 悠伸
2位 野崎 雅貴
3位 浦口 結仁
4位 佐藤 瑠音
5位 本春 剛
6位 山口 恵真

また、クラスマッチの部は、3年生が優勝でした。この時期に行われるロードレース大会においては、3年生は不利と言われているのですが、津奈木中の3年生は、まだ負けない！と言わんばかりの力走を全員が見せてくれました。こうした団結力も、3年生の魅力のひとつです。こうした、「何事にも全力で臨むことができる」力を、後輩にも受け継いでもらいたいです。

アートプロジェクト



本プロジェクトは、つなぎ美術館の協力を得て行う事業です。台湾出身の陳漢聲（チェン・ハンシェン）さんと劉星佑（リュウ・シンヨウ）さんに講師をお願いし、作品の見方や感じ方を学んだあと、実際に作品作りに挑戦します。

12月19日（金）は、本校1、2年生がつ

なぎ美術館を訪問し、現在行われている講師のお二人の個展を鑑賞しました。独創的な作品の数々にたくさんの刺激をもらいました。

12月22日（月）は、講師に来校いただき、「シルク版画」に挑戦しました。彫刻刀を使わないこの版画でしたが、刷り上がっていくと大喜び、楽しそうに彩色作業を進めていました。

地域の美術館を活用した本事業、生徒にとって、本物にふれる貴重な体験でした。



津奈木中の冬の風物詩

大根の掛け干し

9月に種を蒔いた寒漬け用の大根、今年はお天氣にも恵まれ、ぐんぐんと成長し（すぎ）ました。12月22日、待ちに待った収穫の日、長く伸びた大根を抜くのは一苦労。途中で折ってしまう生徒が何人も続出しました。

その後は大根洗い、この作業が寒い冬には堪えます。生徒だけでは時間が足りず、地域の方にも手伝っていただきました。最後には、機械も登場！洗う方も大変でしたが、運ぶ方も大変で、服がびしょ濡れになり寒そうでした。

洗った大根は、大部分を地域の方に藁で結んでいただきました。慣れた手つきで2本の大根を結びながらもなかなか減らない大根。生徒は大収穫を喜びながらも大変そうでした。

最後は、学校に戻り干す作業に。校舎前面では干場が足らず、駐車場やプールのフェンスにも干場を求めて移動していました。それでも干しきれずに、地域学校協働活動推進員の坂口様の家に干していただきました。

この干す作業が、寒漬け大根の仕上がりに大きく影響すると言われています。これから約20日間寒風に吹かれ、うまい、歯ごたえ、保存性等々をしっかりと高めてくれることと思います。



明日から冬休み《12月25日～1月7日》



12月27日から1月4日まで、学校は閉学します。緊急時にはHP「緊急連絡フォーム」をご活用ください。